

【特集】 災害から身を守る

いつ発生するか分からない、地震や水害などの自然災害。新型コロナウイルス感染症の流行による生活様式の変化などから、もしものときへの不安が増している方も多岐にわたるかもしれません。

この特集では、日頃からみなさんがご自宅でする備えや、災害が起きた時取るべき行動を紹介し、命を守るために一人一人ができることを確認しましょう。

昭和56年8月水害 豊幌地区

【詳細】 危機対策・防災担当 ☎ 381-1407

大雨が降ったときには



台風や集中豪雨などは、気象情報などで予測できるからと安易に考えてはいけません。油断はせずに、日頃から十分な対策を立てておきましょう。

①警戒レベル・避難情報の確認

テレビやラジオなどで情報を発信しますので、警戒レベルに応じた行動を取ってください。

<避難情報等>

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5 命の危険 直ちに安全確保!	既に災害が発生・切迫している状況です。命が危険ですので、直ちに身の安全を確保しましょう。	緊急安全確保 [江別市が発令]
< 警戒レベル4までに必ず避難! >		
警戒レベル4 危険な場所から 全員避難	災害が発生する危険が高まっています。速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。	避難指示 [江別市が発令]
警戒レベル3 危険な場所から 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 [江別市が発令]
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、日らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 [気象庁が発令]
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 [気象庁が発令]

②適切な方法で避難

大雨による災害には洪水と土砂災害があるため、発生場所や災害の状況に応じて避難方法を判断することが大切です。

【防災あんしんマップ】

QRコードからも確認することができます



住んでいる地域の危険性を確認

市が作成している防災あんしんマップは、自然災害発生時の被害予測による、地震の揺れやすさや浸水想定区域、避難所などを地図上に表示しています。地域の状況に応じた具体的で効果の高い防災対策を確認することができます。



①安全な場所は在宅避難を基本に

避難所は3密の状態に近く、衛生状態が悪くなりやすい環境です。災害の危険性がない場所にいる場合は、避難所に行く必要はありません。普段から自宅周辺の危険性を確認しておくことが重要です。

②安全な地域の親戚・知人宅への避難も検討

避難できる場所は自宅や避難所だけとは限りません。親戚や知人が安全な地域に住んでいる場合、事前に相談しておくことと緊急時の避難先にすることができます。

③安全が確保できない場合は指定緊急避難場所へ

地域の危険度は災害の種類(地震や水害など)によって違うため、開設する避難所も異なります(水害時は浸水想定区域の避難所は開設しません)。また、通い慣れた道が災害時に通れるとは限らないので、災害の種類ごとに決めた避難所までの複数のルートを通って確認しましょう。

※指定緊急避難場所: 災害などから命を守るために緊急的に避難する場所で公園やグラウンドなどが指定されています
 ※指定避難所: 災害により自宅へ戻れない人が一時的に滞在(生活)する施設です。開設時には市ホームページや江別市防災情報提供サービスでお知らせします

災害

● フォトグラフえべつ ●



昭和 50 年 8 月水害（豊幌）



昭和 56 年 8 月水害（避難所）



昭和 56 年 8 月水害（緑町）



平成 16 年 9 月台風（上江別西町）



平成 30 年 9 月台風（若草町）



平成 30 年 9 月地震（ゆめみ野南町）

シェイクアウト訓練にご参加ください

シェイクアウト訓練は、地震を想定し予定時間に自宅や職場で一斉に自分の身を守る行動をとることで、とっさに安全行動をとれるようにする訓練です。



今年は9月14日（火）11:00 から行います。どこでもだれでも参加できますので、この機会に地震発生時にとるべき行動を考えてみましょう。

【訓練方法】

訓練日時に開始を知らせるメールが届きますので、地震の揺れを想像し、約1分間その場で身を守る行動を行ってください

【参加登録】

訓練メールを受信する場合は、「江別市防災情報提供サービス」へのメール登録が必要です（登録の詳細は下記参照）

【江別市防災情報提供サービス】



気象情報や避難情報などをメールで受信できます。左のQRコードを読み込むか下記のメールアドレスに空メールを送信すると登録できます。

E-mail bousai.ebetsu-city@raidan.ktaiwork.jp

備蓄品・非常持出品の見直し

いざという時に備え、日頃より備蓄品を十分に用意しておくことが大切です。下記の例を参考に家族構成などを考慮しながら、必要に応じて品目や数量を増減させ、リュックなどの非常持出袋に入れて常備しておきましょう。



備 蓄 品

- 自宅で数日間過ごすことを想定
- 食料品・飲料水（1人3L/1日）
最低3日分（1週間分を推奨）
 - 粉ミルク・液体ミルク
 - ランタン
 - 乾電池・携帯電話のバッテリー
 - カセットコンロ・携帯トイレ
 - 水のいないシャンプー
 - ティッシュペーパー
 - 給水容器（ポリタンクなど）
 - ビニール袋・工具・ロープ
 - 救援時のホイッスル
 - ペットの餌
 - 段ボール・防災保温シート
 - ポータブルストーブ

非常持出品

- 避難時にすぐに持ち出せるように準備
- 食料品・飲料水
 - 厚手の手袋
 - 粉ミルク
 - 常備薬
 - 現金・貴重品
 - お薬手帳
 - 衣類・防寒着
 - 携帯ラジオ
 - 寝袋・毛布
 - 懐中電灯
 - ライター・マッチ
 - 生理用品
 - 使い捨てカイロ
 - ペット用品

感染症対策

- 非常持出品にプラス！忘れずに
- マスク
 - 消毒液
 - 体温計

